

ブレマーハーフェン 志賀トニオ氏



オーケストラピットで演奏する筆者

私がブレマーハーフェン歌劇場に来て今年の3月で10年目となりました。そして今年の2月～5月はその中でも一番忙しい期間の一つとなりました。忙しくなった理由の一つは、この劇場で初めての試みである野外劇場を6月に催す事にありました。その野外劇場は演劇と合唱が出演し、オペラ部門は参加しないのですが、6月に屋内で公演が行えない影響で、オペラ部門の公演を5月までに詰め込む事になり、多方面でスケジュールがひっ迫してしまっただけです。

2月にはマスネ作曲のウェルテルの立ち稽古が始まりました。フランスオペラの傑作で大変繊細な作品です。今回は私の長女が少年少女合唱団で参加しました。この作品は少年少女合唱団が冒頭の30分程と、終盤の10分程に出番があり、大変重要な役割を担っています。少年少女合唱団の出番が終盤にあると、子供たちの帰宅が夜の11時頃になってしまう難しさもありました。一言Merciというだけですが、小さなソロもあり、とても大きな経験になったようです。



左の写真の向かって右から2番目がトニオさんの長女の円花さん、右は主役の二人

さて、忙しくなった理由は実はこのウェルテルの次の演目Breaking the Wavesにありました。この作品はドイツ初演の現代曲で大変難しく、なにより主役のヒロインが難役でほとんど出ずっぱりなのでした。通常ならウェルテルのプレミエの後、立ち稽古開始まで1週間空きがあるのですが、今回は上記の理由により、2日後に稽古開始、稽古期間も1週間短縮するという条件でした。それが何を意味するかというと、ウェルテルの立ち稽古と並行して、Breaking the Wavesの音楽稽古を集中的にする必要があったのです。問題は、ヒロイン役の歌手が、今シーズンは大きい役の連続で音楽稽古の進捗状況が遅れていた事と、ウェルテルの演出家が細かい所まで徹底的に稽古し、稽古可能な時間をぎりぎりいっぱい使う人だった事です。私達コレペティトアとヒロイン役の彼女は、少ない空き時間を使って、少しづつ稽古を重ねていきました。そんな折にオーケストラ部門のマネージャーから連絡が入り、定期公演の指揮者が一回目の稽古に来られないとの事で、演目が難しく練習回数が少ないと心配だから、その一回目の稽古を私が代振りしてくれないかの打診でした。正直大変驚いた打診でした。というのは、今までのケースではこのような稽古は必ずキャンセルになっていたもので、私にわざわざ打診してくれた事にも意気を感じ、快諾しました。稽古は1週間後、作品はチャイコフスキーとプロコフィエフのそれぞれロミオとジュリエット。チャイコフスキーは日本にいた頃に少しかじった事がありますが、プロコフィエフは第2組曲だったのですが、なかなかの難曲でした。それでも、稽古1回の代振りというのは、日本にいた頃に多く経験していたので、稽古当日は比較的スムーズに進行する事ができました。

さて、その定期公演の指揮者は今回はリュウベック歌劇場の音楽監督がゲストだったのですが、公演当日の午前中にゲネプロ(最後の通し稽古)があり、私の同僚がピアノとチェレスタパートを弾いていました。それと並行して、私はBreaking the Wavesの稽古でピアノを弾いていたのですが、その稽古中にまたしてもオーケストラのマネージャーが現れ、ゲネプロ中にピアニストが気絶して倒れたから私に代わりを弾いて欲しいとの事。急いで稽古場に向かうと、今はヴァイオ

リン協奏曲の稽古中との事。上記の2つのロミオとジュリエットは曲をすでによく知っていましたが、こちらのヴァイオリン協奏曲は全く未知の作品で、しかも曲の途中から参加し、何が何やらわからず四苦八苦。稽古が終わって夜の本番まで少し時間があつたので急いでこの作品について調べました。中国人の作曲家の作品で、民族楽器である胡弓をヴァイオリンで再現する事を試みた作品で、胡弓独特の滑らかなグリッサンドの効果をヴァイオリンで表現した20分程の曲でした。ピアノパートは出番は少ないのですが、弾く所はソリストティックで目立つのでやっかひでした。というのは、休みが数100小節あり、10小節弾いたらまた数100小節休みというパートで、稽古に参加していれば問題ないのですが、実質ぶっつけ本番なので、とにかく正しい箇所を弾き始める事が出来るように、YouTubeの映像を見て勉強しました。そして夜の本番、なんとかミスなく終了！3回本番があつたので、3日目には音楽的にも表現する余裕が生まれました。その後同僚のコレペティトアはしばらくの間休養することになったので、Breaking the Waves の立ち稽古は私一人で担当する事に。その Breaking the Waves も無事プレミエを終了し、この作品の3日目の公演前日、またオーケストラのマネージャーから電話がありました。今度はハープ奏者が病気になったから、代わりにキーボードでハープパートを弾いて欲しいとの事！この本番は私のハープデビューとなりました！！

☆☆☆☆☆☆

新入会員紹介 敬称略

クーデンホフカレルギー まゆみ
島 晃子

年会費納入のお願い

本年度（令和5年）の年会費を未だ納付されていない方は、どうぞお忘れなくお願いします。

編集後記

本年度第1号（通算140号）をお届けします。今回より通しの番号のみと致しました。情報誌としてどうあるべきか皆さんと考えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。（大久保）

湘南日独協会Bierfest申し込み受付中

湘南日独協会 BIERFEST-2023

飲んで歌って楽しもう！



日時：7/19(水)

17:00~20:00

会場：イタリアレストラン

“TANTO TANTO”

会費：6,000円

概要：イタリア料理と飲み放題

音楽は生バンドではありません。

BGMに合わせて歌います。

参加申し込み、問い合わせ先：

湘南日独協会事務局 0466-26-3028

jdgshonan.official@gmail.com

申込フォーム



湘南日独協会主催

秋のミニコンサート

日時：2023年10月21日(土) 14:00~16:00

会場：藤沢市民会館2階 第1集会展示ホール

会費：2,000円

「出演予定演奏家」

ピアノ：高橋愉紀
ヴァイオリン：松野美智子
(ピアノ伴奏：高橋愉紀)
古箏：伊藤志津子
アルプホルン：鬼久保洋治
湘南日独協会混声合唱団アムゼル
(指揮：梶井智子、ピアノ伴奏：内海祥子)

「演奏予定の曲目」

高橋愉紀
ラフマニノフ プレリユード
作品3の2 cis-mol
ラフマニノフ 楽興の時
作品16の1 b-moll 他

松野美智子

ヴィターリ シャコンヌ (シャルリエ版)
ハチャトリアン “ノクターン” 他

伊藤志津子

「採茶捕蝶」 「雪山春暁」

鬼久保洋治 曲目未定

混声合唱団アムゼル

曲目未定ですが、予定4曲、会場の皆様とご一緒にを2曲予定しています。